

(案)  
令和５年度福島県指定管理鳥獣捕獲等事業における  
捕獲確認の受け方

○ 捕獲確認

捕獲者は、捕獲個体記録票・捕獲写真・処分記録（埋設写真、焼却伝票、処理施設の受入伝票のいずれか）・捕獲個体の尾、併せて捕獲従事者証を準備し、指定の日時・場所にて確認を受ける必要がある。

日 時：毎週火曜日もしくは水曜日

（※時間は確認作業者との調整のうえ決定し、別途示す。）

場 所：県内２７箇所を基準箇所とする。

ただし、No. ２５については、豪雪地域であることから冬期間の確認場所を別途検討する。

（※詳細地点については、確認作業者との調整のうえ決定し、別途示す。）

〔基準箇所〕

- １ 福島市飯坂付近、２ 福島市松川付近、３ 伊達市役所付近、
- ４ 伊達市梁川支所付近、５ 桑折町役場付近、６ 川俣町役場付近、
- ７ 二本松市役所付近、８ 本宮市役所付近、９ 郡山市逢瀬行政支所付近、
- １０ 田村市役所付近、１１ 須賀川市長沼支所付近、１２ 小野町役場付近、
- １３ 石川町役場付近、１４ 白河市大信支所付近、１５ 白河市役所付近、
- １６ 西郷村役場付近、１７ 棚倉町役場付近、１８ 会津若松市役所付近、
- １９ 金山町役場付近、２０ 三島町役場付近、２１ 会津美里町役場付近、
- ２２ 喜多方市役所熱塩加納総合支所付近、２３ 南会津町役場付近、
- ２４ 南会津町役場舘岩総合支所付近、２５ 檜枝岐村役場付近、
- ２６ 南相馬市役所付近、２７ 飯舘村役場付近

【捕獲確認の準備物】

① 捕獲個体記録票

捕獲個体１体毎に作成すること。

② 捕獲写真

証拠写真及び証拠物により捕獲個体が本事業による捕獲個体であることを確実に確認するものとする。

証拠写真の撮り方

ａ．捕獲個体への個体識別内容の記入

捕獲従事者は、捕獲個体に油性のスプレー等で捕獲個体の識別が可能となるマーキングをする。（マーキングの形式に指定は無いが、個体判別

が困難となる様な類似のマークキングは無効。なお、同一日に複数頭捕獲した場合は、番号を付し、識別ができるようにすること。）

b. 捕獲個体の向き

撮影者から見て、捕獲個体の足が下向きになり、頭部が右側にくる状態とする。

c. 証拠写真の撮影

証拠写真は、原則として捕獲現場において撮影する。ただし、捕獲従事者の安全確保又は当日の天候、地形条件等により捕獲現場での撮影が困難な場合は、捕獲現場以外での撮影を可とする。

証拠写真の撮影は、撮影ケース 1 か 2 のいずれかに従い撮影する。

③ 処分記録

埋設処分をする場合は、埋設穴の中に入れた状態の写真を撮影。焼却処分の場合は、処分場で発行される伝票を準備。

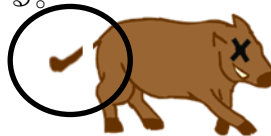
(埋設写真例)



※埋設時はしっぽ無しでも可

④ 捕獲個体の尾

捕獲個体の尾を切除し持参する。



⑤ 捕獲従事者証

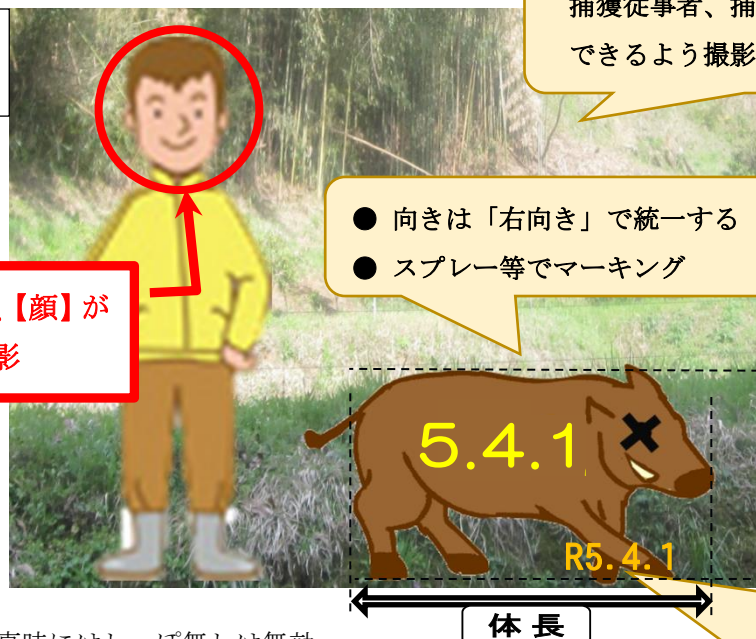
【撮影ケース 1】

捕獲従事者が  
一緒に写る場合

本人確認のため、【顔】が  
見えるように撮影

捕獲従事者、捕獲個体、捕獲日が確認  
できるよう撮影

- 向きは「右向き」で統一する
- スプレー等でマーキング



日付を印字  
できるカメ  
ラが使用出  
来ない場合  
は、ホワイト  
ボード等  
で日付表示

※捕獲写真時にはしっぽ無しは無効

スケールは当てなくても有効

※ただし、様式第 6 号の記録票に記載漏れがないように注意すること

## 【撮影ケース 2】

捕獲者が一緒に  
写らない場合

捕獲従事者氏名、捕獲個体、  
捕獲日、捕獲従事者証が確認  
できるよう撮影

※捕獲写真時にはしっぽ無しは無効

【従事者証】については  
拡大コピーしたものでも可

捕 獲 日	令和5年4月1日
捕 獲 者 氏 名	〇〇 〇〇〇
個 体 番 号	5.4.1

日付を印字できるカメ  
ラが使用出来ない場合  
は、ホワイトボード等  
で日付表示

- 向きは「右向き」で統一する
- スプレー等でマーキング

●捕獲写真で範読不能な  
場合もあるため、拡大写  
真も撮影

日付は不要だが、都度撮  
影すること（以前のコピ  
ーは使用不可）

※少し外観も映して撮影

スケールは当てなくても有効

※ただし、様式第6号の記録票に記  
載漏れがないように注意すること

# 従事者証

## ○ 捕獲に係る作業の記録（捕獲確認とは別途整理）

### 【捕獲作業の記録】

当事業において、捕獲作業（準備作業を含む）を実施した場合は、「様式第7号」により、作業日毎に、作業者数、使用わな数などを記録するものとする。

また、作業実施した際には、集合写真等を撮影（従事日等が分かるよう日付を記載した表示板を入れること）し、従事した人数、従事者等が写真でも確認できるよう証拠書類として別途保存すること。

### 【写真のイメージ】

日付を印字できるカメラを使用する場  
合は、ホワイトボード等の省略可能



（標示板記載例（ホワイトボード・黒板・紙等））

捕獲従事日	令和5年4月1日
捕獲従事場所	〇〇市〇〇地区
従事人数	□□人
撮影（捕獲従事）者：〇〇 〇〇（氏名）	

R5.4.1